

日時 平成27年11月19日
午後7時～9時
場所 西条地区集会所



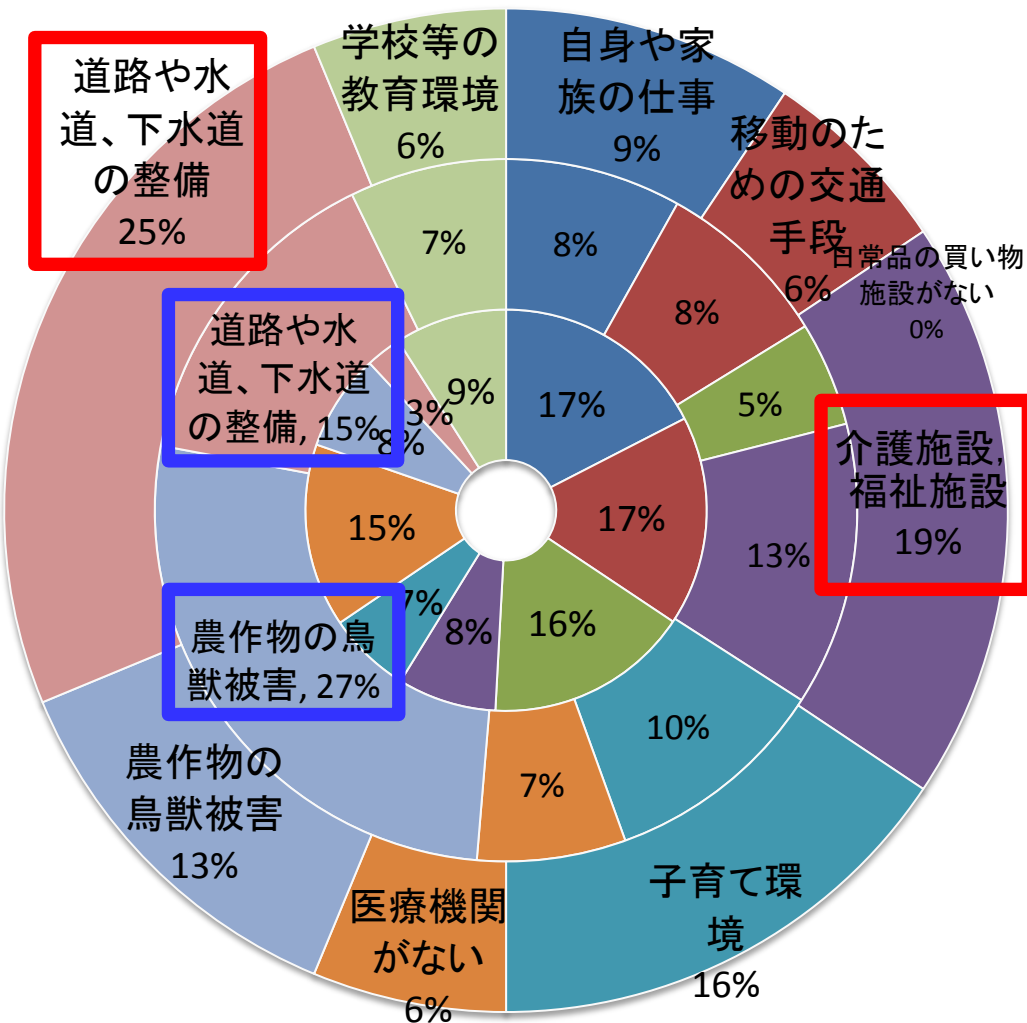
- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 昨年のふれあいトーク報告
- 5 地区の事業概要
- 6 質疑応答
- 7 地方創生について
- 8 意見交換会
- 9 閉会あいさつ

市長あいさつ

役職	氏名	所管部署等
氷見市長	本川 祐治郎	
市長政策・都市経営 戦略部長	高橋 正明	秘書・市民情報課 地方創生と自治への未来対話推進課 芸術文化マネジメント室 スポーツ文化マネジメント室
地方創生政策監	宮本 祐輔	地方創生総合戦略策定や氷見市人口ビジョンに関すること
まちづくり推進部長	荒井 市郎	都市計画・まちのグランドデザイン課 商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課 海浜植物園・花みどり推進室 魚々座・漁業文化推進室
総務部長	桶元 勝範	総務課 財務課 税務課
市民部長	山口 優	福祉介護課 子育て支援課 市民課 健康課 病院事業管理室 環境・交通防犯課
建設農林水産部長	福嶋 雅範	建設課 上下水道課 農林畜産課 いのしし等鳥獣害対策室 水産振興課
教育次長	草山 利彦	教育総務課 学校教育課 教育総合センター 図書館 博物館
消防長	堂尻 繁	
地域担当職員	布尾 誠	(所属) 芸術文化マネジメント室

昨年のふれあいトーク報告

困り事 日々の生活の中で、不便なことや不安に思ったこと、困ったことはありませんか？



外円：窪地区
中円：氷見市全体
内円：全国農漁村調査結果

関心事 ふれあいトークではどの項目に関心をお持ちですか？

けやき並木の落ち葉について・・・落ち葉の処理に大変な苦勞をしているので、ケヤキを全部切り取る、歩道も木の根っこで持ち上がっている。ケヤキに変わりに針葉樹など葉の落ちない樹木を植える

土地利用について
福祉について

海岸の用水が埋まることについて、昔は台風くらいだったが、今は浜が細くなり、どう対処しても波を止めれないと思う。海の中へジャバラなり波消しを投入するなどの検討はどうか。

災害時の対処の仕方、行動について

西条地区灌漑

西条集会場の建て替え

園川の改修→堤防の改善(拡大)

地区と市の協働

環境整備について

海岸の汚れ、松くい虫

観光都市氷見としての進み方

氷見伏木線の供用開始時期について

対応済または対応中

2001-環状南線のケヤキの剪定
2004-柳田地区の住環境
2006-子育てサークルの活動資金
2010-自転車道路の並木の剪定
2011-原子力防災30km圏外への説明
2017-第3子以降の保育園無料化

27年度内

2008-仏生寺川右岸の防護柵改修
2014-西条地区集会所

可能

28年度以降

2002-排水路にたまる流木や土砂
2003-用水、排水路が沈下し使えない
2005-子どもが遊べる児童公園
2007-園川水門の電動化
2009-側溝改良のスピードアップ
2012-街路灯整備
2013-農地保全と効率的な土地利用
2015-南地区に芸術文化ホール
25/1221-側溝改良
25/1226-土地利用の計画策定

未定

参考意見

2016-側溝改修の市の対応



剪定工

着工前



剪定工

完了

10月3日



剪定工

着工前



剪定工

完了

10月3日



剪定工

着工前



剪定工

完了

10月3日



2008-仏生寺川右岸の防護柵改修（窪） 9

27まちづくり
ふれあいトーク

工 事 名 市道仏生寺川右岸線防護柵補修工事
工 事 費 7,063,200円
契 約 日 H27.11.13
完成予定日 H28. 1.22





氷見市の空き家対策

11

①空き家情報バンク制度

市内の空き家を売りたい・貸したい方に、空き家登録をしていただき、市外の方を対象に紹介

全登録数10軒 柳田地区内0軒 (11/17現在)

②セカンドライフ住宅取得補助金

空き家バンク登録者が、登録物件を購入した場合、購入費又はそのリフォーム費の1/2補助(上限50万円)

③定住促進家賃補助金

空き家バンク登録者が、登録物件を借りた場合に家賃の1/2補助(月上限2万円・2年間)

④田舎暮らし体験ゲストハウス

市内への移住を考えている方を対象にした、生活体験宿泊施設(最高6泊まで可)

⑤まちなか地区居住支援補助金

まちなかの居住者が、隣接する土地を売買した場合、購入者と売却者に補助

購入者1㎡につき2千円・上限20万円

売却者1㎡につき1千円・上限10万円

⑥住宅取得支援補助金

市内で住宅を取得または増改築をした場合、固定資産税相当額を2年間補助(上限50万円)

ただし対象者要件あり

⑦空き家紹介奨励補助金(H27新規)

空き家情報バンクに登録可能な空き家及びその所有者を市に紹介した方に対し、成約1件当たり2万円を補助

⑧フレンドリー定住モデルコース(H27新規)

主に「子育て世帯」を対象として、知りたい・感じたいことを1泊から2泊で体験していただく。参加費は無料。ただし、島尾ゲストハウスの宿泊費、食費や氷見までの往復交通費は参加者負担

⑨危険老朽空き家対策事業

市街地で土地を含めて市に寄附のあった住宅を市が解体撤去

⑩危険老朽空き家対策事業補助金

廃墟になった空き家の取り壊し費用の2/3補助(上限30万円→**50万円にアップ**)

ただし地域活性化で土地利用することなどの要件あり

空き家情報バンク物件

No.	住所	条件	延べ床面積	建築時期
1	氷見市柳田	賃貸	217m ²	昭和52年頃
2	氷見市中波	売却	228.52m ²	昭和43年頃
3	氷見市幸町	賃貸	114m ²	
4	氷見市七分一	賃貸	85.38m ²	昭和50年頃
5	氷見市阿尾	賃貸	175.54m ²	昭和40年頃
6	氷見市南大町	賃貸	101.25m ²	昭和45年頃
7	氷見市朝日丘	賃貸	160.9m ²	昭和41年頃
8	氷見市朝日本町	賃貸	117m ²	昭和46年頃
9	氷見市見内	売却	75坪	昭和35年頃
10	氷見市姿	売却	113.93m ²	昭和48年頃



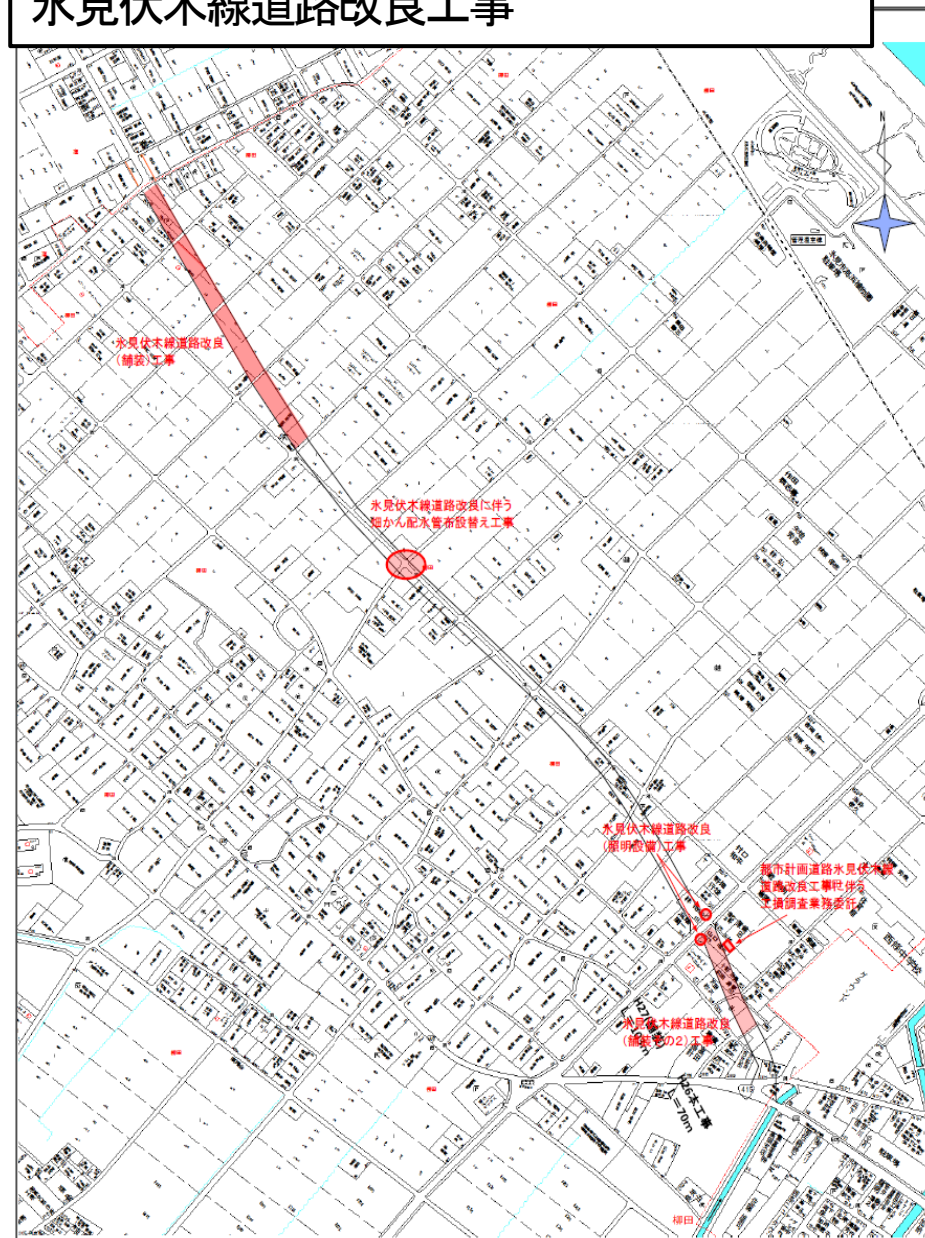
柳田地区の事業概要

実施 年度	工 事 名	工事場所	契約日	完成日	契約金額または 予算額(円)
H27	柳田準幹線管渠布設第27－1工区工事	柳田	H27.5.13	H27.7.13	2,829,600
H27	柳田污水管渠布設第27－1工区工事	柳田	H27.6.1	H27.8.7	6,458,400
H27	JR氷見線島尾・氷見間14k202m付近柳田 跨線橋補修工事	柳田	H27.6.1	H28.3.31	44,091,000
H27	氷見伏木線道路改良(舗装)工事	柳田	H27.6.24	H27.8.31	24,084,000
H27	海浜植物園遊歩道改修工事	柳田	H27.7.7	H27.8.31	1,290,600
H27	柳田準幹線管渠布設第27－2工区工事	柳田	H27.7.27	H27.10.2	8,834,400
H27	氷見伏木線道路改良(舗装その2)工事	柳田	H27.7.24	H27.10.30	14,547,600
H27	都市計画道路氷見伏木線道路改良工事 に伴う工損調査業務委託	柳田	H27.8.5	H27.11.10	259,200
H27	公共污水枳設置(その8)工事	柳田	H27.8.19	H27.9.30	183,600
H27	柳田準幹線管渠布設第27－3工区工事	柳田	H27.8.27	H27.11.6	4,158,000
H27	氷見伏木線道路改良(照明設備)工事	柳田	H27.8.27	H27.10.15	2,192,400
H27	中継マンホールポンプ機器修繕	柳田外2	H27.10.28	H27.12.14	2,505,600
H27	公共污水枳設置(その4)工事	柳田	H27.4.24	H27.5.29	272,160
H27	氷見伏木線道路改良に伴う畑かん配水管 布設替工事	柳田	H27.9.2	H28.1.29	17,064,000
H27	柳田污水管渠布設に伴う試掘工事	柳田	H27.10.27	H27.11.9	173,880
				H27計	128,944,440

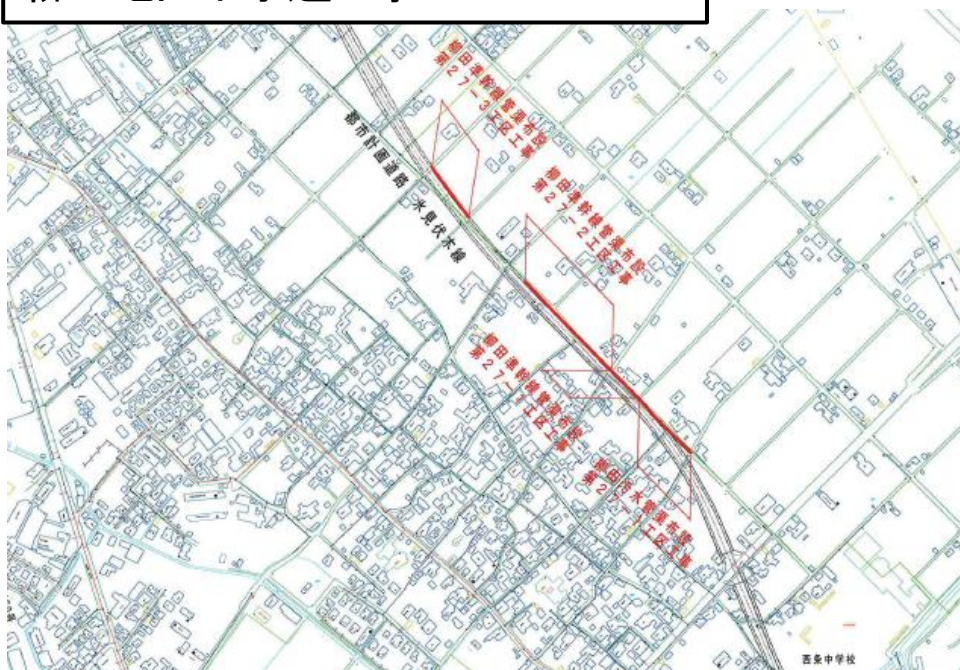
JR氷見線柳田跨線橋補修工事



氷見伏木線道路改良工事



柳田地区下水道工事



実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助金等金額 または予算額	担当課	備考
H27	健康ウォーキング(11月予定)(窪校下)	地区一般住民を対象としたウォーキング教室を実施	5,000	健康課	
H27	幼児食らくらくメニュー講座(窪校下)	乳幼児とその保護者を対象に教室を開催し、食生活等の改善を図る。(3月11日)	7,000	健康課	
H27	健康教室(窪校下)	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に講義、実践を行なう。(9月6日)	14,000	健康課	
H27	こころの健康教室	ふれあいランチ参加者に「高齢期のうつ」をテーマにこころの健康教室を開催し、うつの啓発や相談機関についての情報提供をする。(5月13)	職員対応	健康課	
H27	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にレクリエーション教室を実施することで、閉じこもりや要介護状態になることを予防する。(10月21日)	2,100	健康課	
H27	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。(3月9日)	3,000	健康課	
H27	子育て広場(窪校下)	地域の保育園を会場に年1回、未就園児とその家族を対象に健康教室を行い、家族ぐるみで健康づくりの実践ができるように働きかける。(7月1日ひかり第2保育園、12月9日海清保育園)	2,000	健康課	

実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助金等金額 または予算額	担当課	備考
H27	健診PR活動(旗立て)	受診勧奨のため、地区内に健診PRの旗をたてる(7～9月)	2,000	健康課	
H27	道路整備地域支援事業	柳田 デリネータの設置 1式	25,000	建設課	
H27	道路整備地域支援事業	柳田 市道側溝改修	400,000	建設課	
H27	市内街灯新設工事	柳田3基設置	104,760	建設課	
H27	水路整備地域支援事業	排水路の改修	500,000	建設課	
H27	多面的機能支払交付金	農地保全活動(草刈り・泥上げ等) 農村環境保全活動(花壇の造成等)へ支援	2,807,420	農林畜産課	
		H27計	3,872,280		

- ① 非耕作地が増えつつある。草がどんどん殖え、荒れ放題の所も見受けられる。
環境美化の観点や防犯上も課題として浮上している。土地所有者に勧告できるように
条例の制定を検討してはどうか。

【回答】

日本型直払制度により、地域ぐるみで農地及びその周辺を保全管理する活動に対して
交付金を交付し、農村環境の保全のための活動に支援を行っています。非耕作地（耕作
放棄地）については、富山県の耕作放棄地対策事業である「美しい農村景観整備事業」を
活用して、農地の保全、環境美化に対応していく方法があります。

なお、氷見市火災予防条例では、空き地の所有者などは、火災などの恐れがある物件
は、予防上必要な措置を講じなければならないとなっています。

質問にあるような土地所有者に対して勧告できるような条例の制定については、個人
財産の取り扱いになることから慎重に対処すべきものと考えています。

- ② 集中豪雨のたびに柳田地区を流れている園川が冠水し被害を受けている。
十二町潟排水機場の排水能力アップを図る等の対応策を早急に示されたい。

【回答】

十二町潟排水機場は、農業用施設として整備されたものであるため、ある程度の冠水
を許諾した設計となっています。

しかし近年では、異常気象や農地の宅地化に伴い、住宅地においても道路冠水が発
生する状況となっています。

このため、老朽化していた受電設備の更新を行うとともに、排水機場の能力アップに
ついて、国、県など関係機関と協議していきます。

- ③ 柳田、窪、島尾そして高岡市太田伊勢領の畑作地に水を供給している。送水管が石綿管で老朽化がひどく、管をとりかえねばならないところにきている。
耕作者の負担の少ない方法で解決する道筋を検討してもらいたい。

【回答】

事業主体となる県では、平成26年度からルートや水源の問題を含め、関係機関との協議や調査を行っています。市としましては、地元負担の少ない事業での早期採択に向け、県へ要望しています。

- ④ 北陸新幹線が開業し、外国人の方々も訪問されることを期待したいとすれば、パンフレットの作成に外国語版の工夫も必要ではないかと思います。

【回答】

氷見市への観光入込客数は、平成26年において208万8千人でしたが、その多くは国内観光客でした。北陸新幹線開業後の4月から9月までの氷見市への外国人客数は、2,694人(月平均449人)で、開業前の1月から3月の232人(月平均77人)と比較して、月平均で約6倍に増加しています。

市観光課では、外国人観光客の皆様に快適に旅を楽しんで頂けるよう、これまでも外国語版観光パンフレットを作成するなどしていますが、近年の交通アクセス環境の変更等に対応した新たなパンフの作成とともに、氷見に興味を持っていただくためのHPでの情報発信等、観光協会や関係機関とともに取り組んでいきます。

- ⑤ 市がこの柳田地区の地域づくり未来の姿を描かれる際、都市計画道路の位置づけをどのようにとらえておられるのか。

【回答】

都市計画道路である氷見伏木線は、都市の骨格を形成し、安心で安全な市民生活と機能的な都市活動を確保する、都市交通における最も基幹的な都市施設として都市計画法に基づいて決定された道路です。

市街地と隣接する高岡市との間の連携強化を担う道路でもあり、沿線には西條中学校もあり、人や物を移動させるための交通空間であるとともに、人々が集い、語らい、子どもが遊ぶといった日常の生活空間でもあります。

そして、火災や地震などの災害時には、避難路としての役割や延焼をくいとめる防火帯の役割を持っている道路として位置づけています。

- ⑥ 市内の人口は高岡寄りの南部地区に移動している。隣接する高岡市との連携を考慮すると人口が一番多い柳田の160号線に隣接する市有地に救急の分隊所（出張所）を考えてはどうか。

【回答】

ご指摘のとおり、救急・消防体制につきましては、どの市町村も現場到着まで5分体制を目指して出張所等を設置しています。

現在、氷見市の救急件数は年間 約1500件発生していて、この内の3分の1にあたる約500件が、この南条地区（十三谷を含む）で発生しています。

このことから、救命率の向上を図る上でも、出張所の設置も含め、さまざまな対応策を検討していきます。

- ⑦ 市内の人口流出の原因の一つに水道料金が他市に比べ高いからと言われている。国営・県営かん排の水や西条畑かんの水は本来農業用とされているが、国や県と交渉し多目的に使用できるようになれば水道料金を下げる方向も可能になる。

【回答】

本市の水道料金が高いのは、本市が自己水源を有していないため、水道水のほとんどを県（企業局）から県営子撫川ダム（小矢部市森屋）に隣接する子撫川浄水場で浄化された水を購入していることから割高となっているためです。

また、高岡市や射水市では水源が山側にあり配水は海側へ向かう自然流下方式となっているのに対し、中山間地域が多い本市では低い所から高い所へポンプで水を上げる必要があります。このため、加圧場や配水地などの施設が約60ヶ所あり、他の市町村に比べて動力費やその維持管理費がかさむ構造となっているためです。

ご質問の国営・県営かんぱいや西条畑地かんがいの水を水道の水源に利用することについては、昭和30年代から40年代にかけ、小矢部川から取水していた西条畑地かんがいの水を水道の水源に利用していましたが、使用水量の増大による施設整備等の問題から県営西部水道供給事業により水源を確保しています。

また、国営・県営かんぱいの水につきましては、水利権の問題が大きなネックとなっています。いずれにしても、それらの水源を利用するとなれば、新たに浄水施設（水を飲めるように浄化する施設）が必要となり、大きな投資が必要となってくることから、実現は難しいものと考えています。

- ⑧ 昨年より柳田区に新生児祝金制度が発足しました。人口減少が心配されている今日、有意義な制度と思います。氷見市の広報で取り上げるとか、市のインターネットにのせる等の取り組みをしていただく等を検討していただきたい。

【回答】

自治会として大変先進的な取り組みでありますので、広報1月号やホームページ等でご紹介させていただきます。

- ⑨ 柳田工業団地には、かつて、多くの中小企業が操業していた。しかし、今日操業しているところは、ほとんどなく、荒れ放題になったままになっている。団地の復活、活用についてどのように検討しているのか市の考えをおききたい。

【回答】

柳田地内にあります工場集積地は、民有財産です。団地の復活、活用については、市でやるべきこととしての位置づけやどのような計画の中で取り組むべきものであるのか、また、土地利用計画上の課題など確認や整理すべき点が多くあり、市民の皆さんとともに、市全体のまちづくりの中で検討していきたいと考えています。

- ⑩ 雇用促進事業団の建物、柳田には第一と第二と2カ所がある。空き室になる時期も5～6年後という。市の活性化まちづくり事業として跡地利用について検討すべき時に来ていると思うがどうか。柳田区としても積極的に議論に参加したい。

【回答】

柳田地内の2箇所にある雇用促進住宅は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の財産です。機構にお伺いしたところ、現在、2箇所とも入札による売却を予定しているとのことです。具体的には、今年度に入りまして、1度入札にかけられましたが、落札されず、今年度もう一度入札にかけるとの予定です。

なお、入札条件に、現在入居中の方については、8年間家賃等の条件そのままであり、入居者がいる状態での入札となるそうです。

- ⑪ 将来、地域を担う子供たちが伸び伸びと遊び動きまわられる児童公園が不足している。

【回答】

子どもたちの遊びが多様化している中、児童公園や都市公園など氷見市全体での公園整備のあり方を考えていく必要があります。現在、柳田沖ノ宮、藤見台団地には都市公園が5箇所あり、中には遊具が設置してある公園もあるので、ご利用ください。また、スポーツの親しめる広場については、用地の確保も難しいことから、現在整備中の新朝日山公園や比美乃江公園を中心に、地域や保護者の皆様のご意見を集約しながら、子どもの遊び場の確保、情報提供に努めていきます。

- ⑫ 市道の安全管理は、道路管理者である市、そして地元柳田区が協力してゆかねばならないと思います。井干(いぼし)線沿いの川に通行人が自転車もろとも転落した事故等があり、ガードレールの設置等が必要と思われます。事故が起きてからではなく、市道の点検が必要と思われます。

【回答】

現地を確認しました。道路と川が並行しているところで、安全対策が必要と思われます。市全体の中より、通学路など重要かつ緊急度の高い箇所から防護柵を設置していきます。

質疑応答

地方創生について

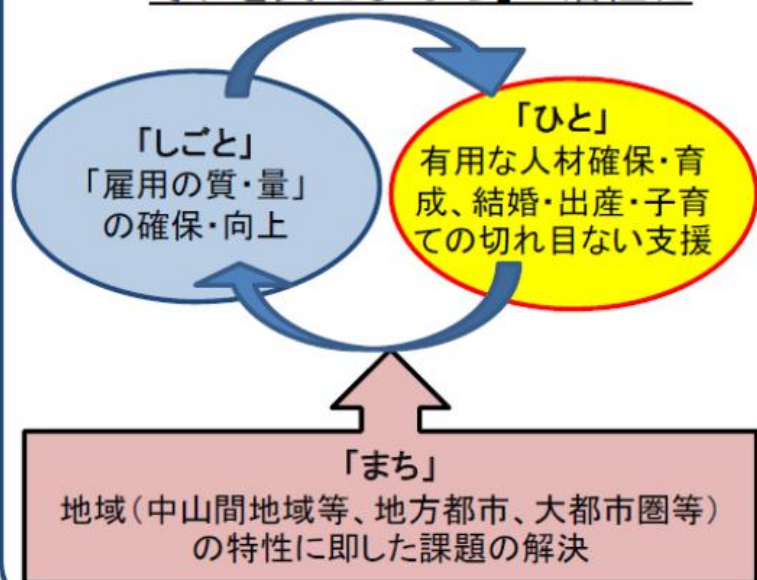
まち・ひと・しごと創生に関する基本的考え方

【基本的考え方】

【基本的視点】

- ①東京一極集中の歯止め
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望実現
- ③地域の特性に即して課題解決

「しごと」と「ひと」の好循環、
それを支える「まち」の活性化



【過去の政策検証】

- 「縦割り」構造
 - ・政策手法が似通い、施策の重複や小粒な事業の乱立
- 「全国一律の手法」
 - ・使用目的が縛られ、地域特性や主体性が考量されない
- 「バラマキ」
 - ・客観的な成果検証と運用の見直しメカニズムが不足
- 「表面的な」取組
 - ・対症療法的施策は構造的問題への対処に改善の余地
- 「短期的」な成果
 - ・短期間で変更・廃止を繰り返す施策が多い

【政策5原則】

- 自立性** 地方自治体・民間事業者・個人等の自立につながる
- 将来性** 地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援
- 地域性** 各地域は地方版総合戦略を策定、国は利用者の側から人的側面を含めた支援を実施
- 直接性** ひと・しごとの移転・創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施
- 結果重視** 短期・中長期の数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証、改善

「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」の意義 —人口減少時代の新たな行政革新—

1. 地域の現状・将来に関するデータ分析—「分析企画」

- ・客観的データに基づく戦略策定
 - ・行政と地域住民の意識共有
- 「地方人口ビジョン」
「地域経済分析システム(RESAS)」

2. 「積極戦略」と「調整戦略」の同時対応—「複眼思考」

- ・「積極戦略」: 人口減少の歯止めのための戦略(人口流出防止、出生率向上)
- ・「調整戦略」: 人口減少に即した戦略(効果的・効率的な行政・まちづくり)

3. 地域の「産官学金労言」の参画—「調整結集」

- ・政策の「縦割り」を排除して、各分野の政策・事業・人材を結集
- ・幅広い各層(女性や若者、外部人材も)の意見汲み上げ、
産業・学界・金融・労働・マスコミの参画
- ・「縦割り」の排除⇒各分野の政策・事業の「組み合わせ」

4. 「数値目標」の設定と5か年の「PDCAサイクル」の徹底—「成果重視」

- ・5年先の「数値目標(成果目標)」設定。その後、毎年効果検証、的確な政策見直し
- ・「予算重視」から「決算・成果重視」へ

5. 市町村間の連携—「広域連携」

- ・広域圏などで複数市町村が総合戦略を共同作成
- ・個別事業(広域観光、都市農村交流など)での市町村連携

「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定プロセス

＜地方人口ビジョン＞

- 人口の現状分析
- 人口の将来展望

＜地方版総合戦略＞

- 基本目標(成果目標)
- KPI(重要業績評価指標)

- 各分野の施策

氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの基本目標

基本目標Ⅰ

(安定した雇用を創出する)

氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やす

基本目標Ⅱ

(新しいひとの流れをつくる)

「回遊する人材を定置網のように受け止めるまち氷見」を実現する

基本目標Ⅲ

(結婚・出産・子育ての希望をかなえる)

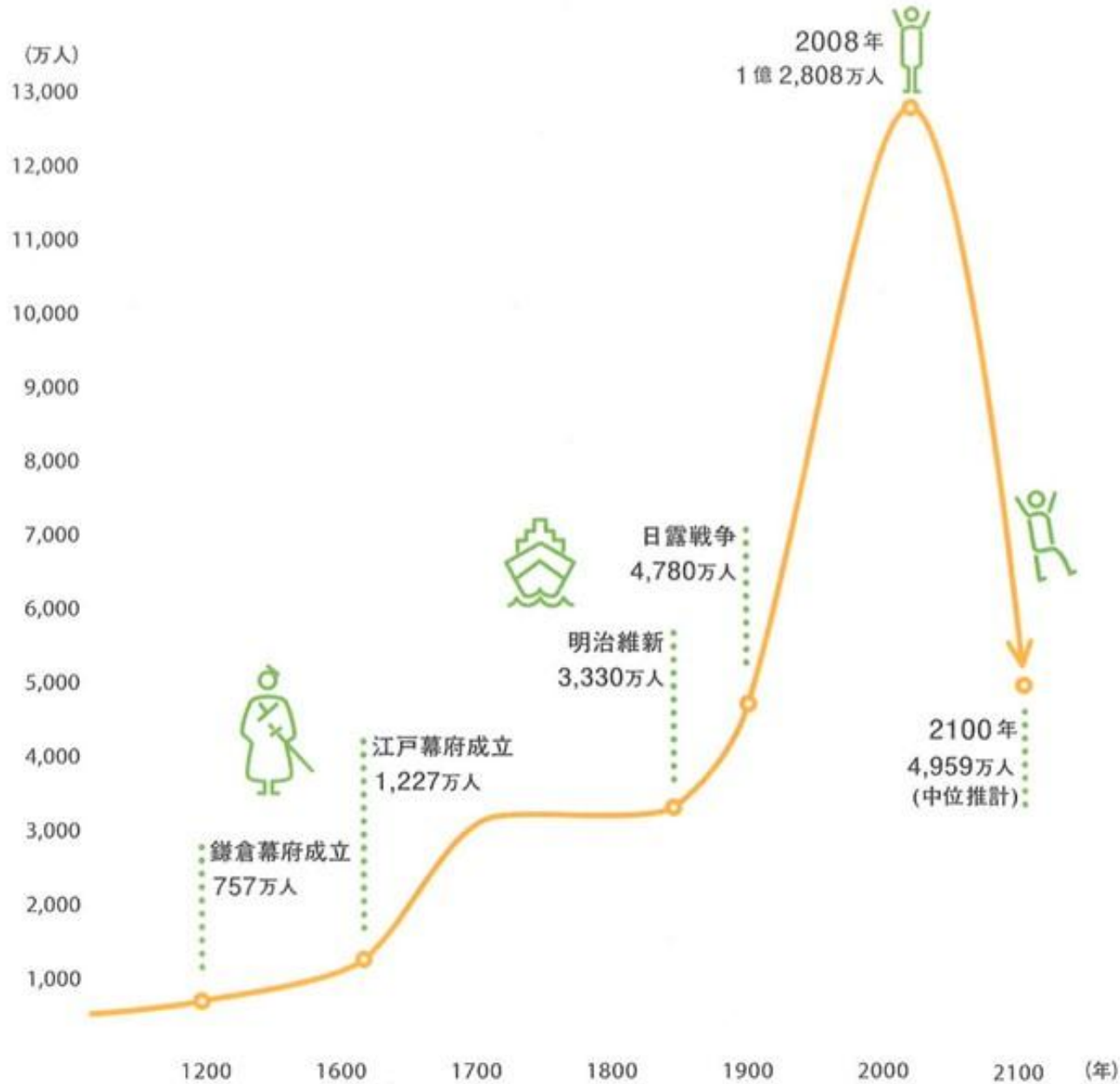
氷見での結婚・出産・子育てを楽しみ、子どもの笑顔で満ちあふれた家庭を増やす

基本目標Ⅳ

(時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する)

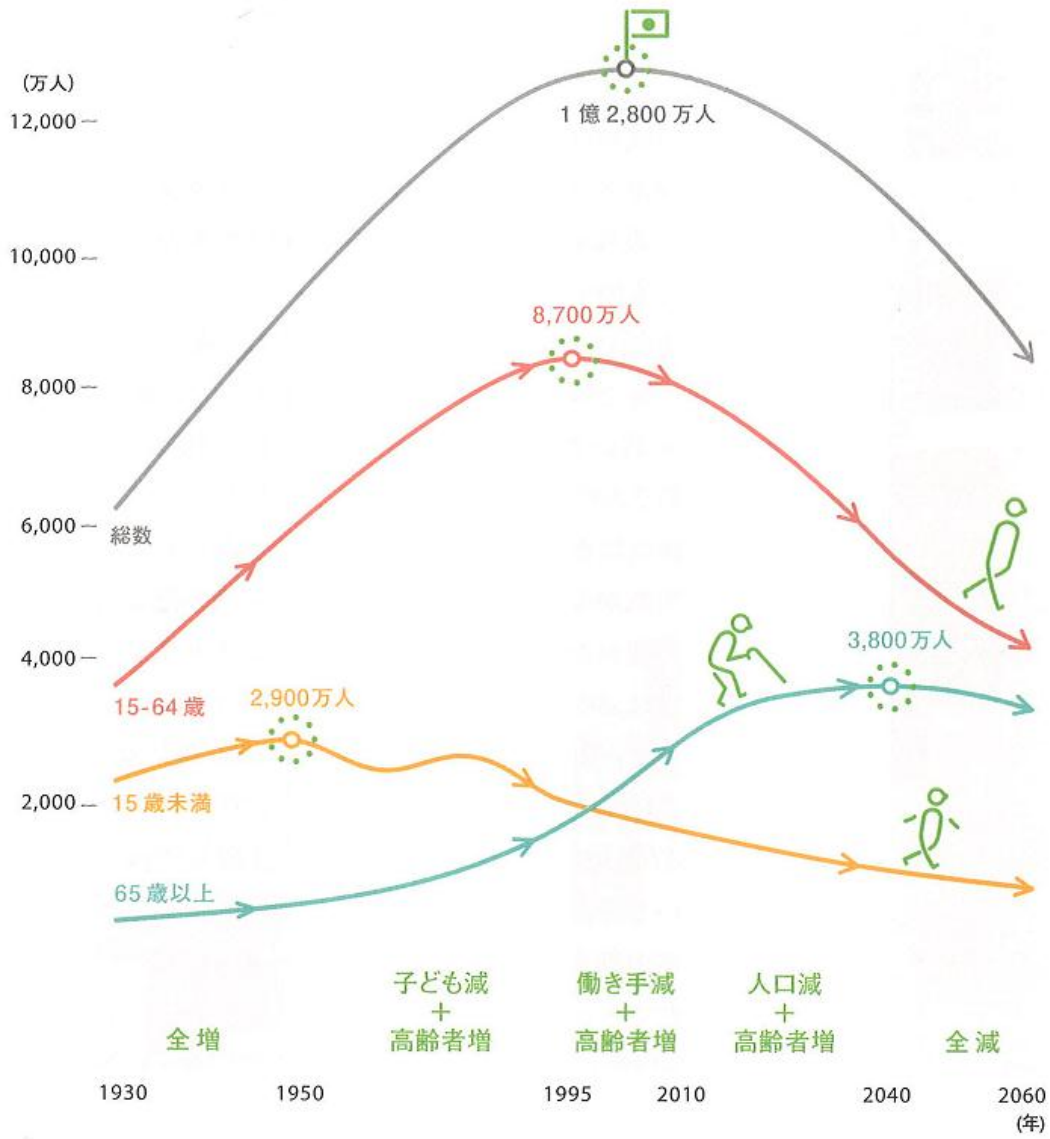
住み続けられる持続可能なまちを実現し、地域資源を効果的に活用した魅力的な地域社会を実現する

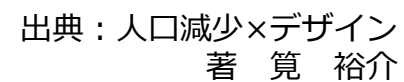
日本の総人口の超長期推移（- 2100年）



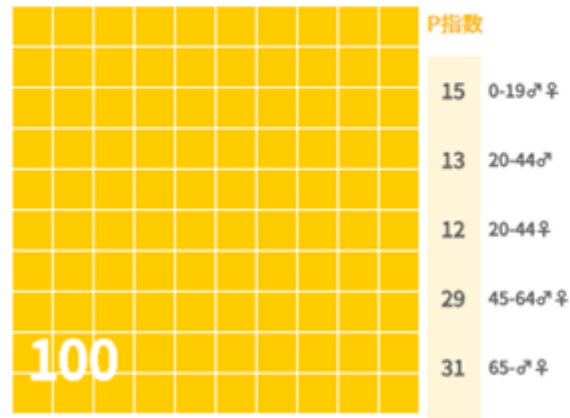
出典：人口減少×デザイン
著 覧 裕介

3 区分年代別人口の推移 (2012年1月推計)





2010

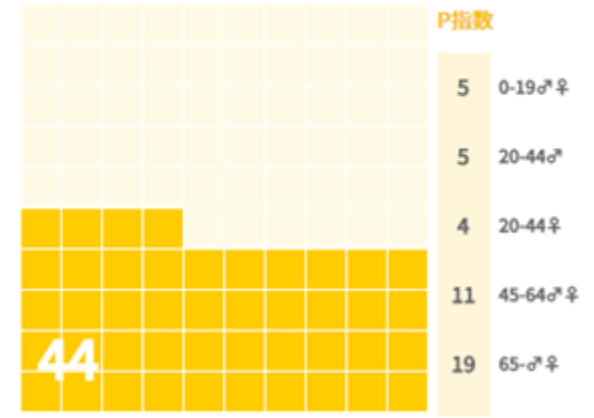


+

人口減少
対策を行わない

=

2060



氷見市全体の20～39歳までの女性人口

2010年

4,824人



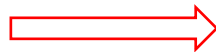
2060年

1,476人

柳田地区の20～39歳までの女性人口

2010年

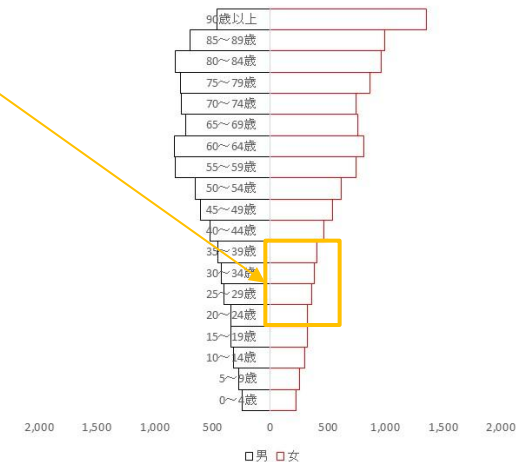
408人



2060年

124人

2060年の人口構成(氷見市全体)



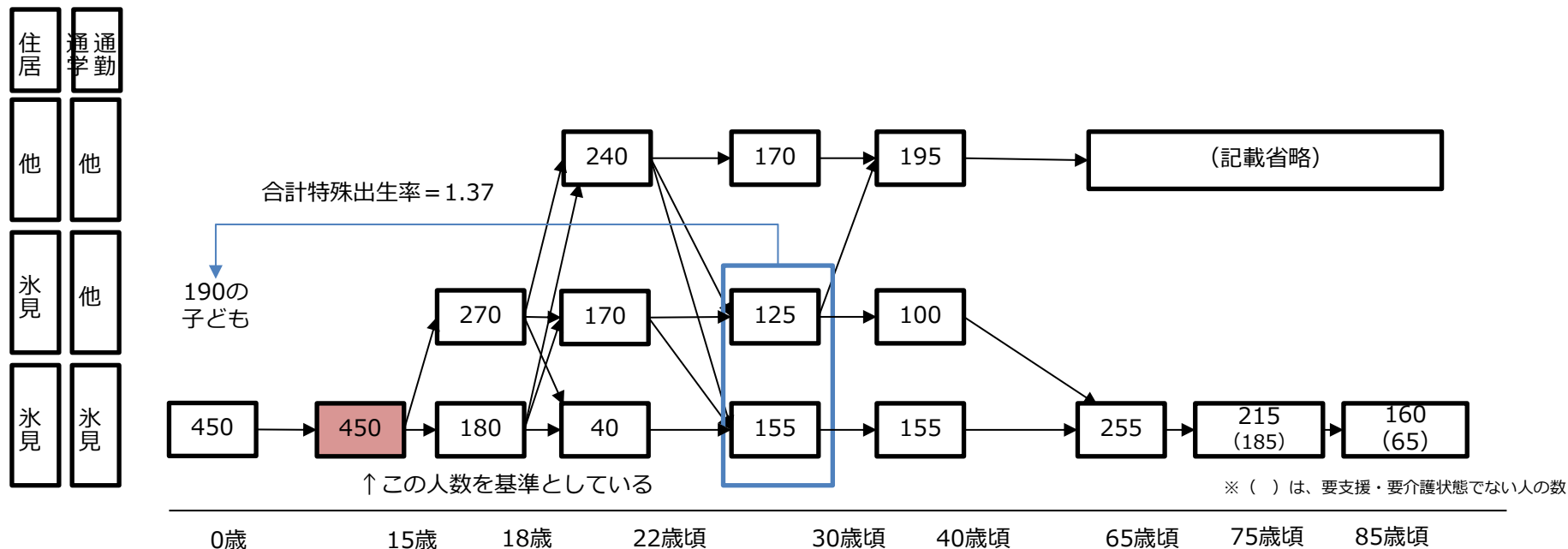
※柳田地区の2060年の20～39歳までの女性人口については、柳田地区の2010年の人口に、氷見市全体の2010年→2060年の比率を乗じて算出

※2060年の人口推計は、国立社会保障・人口問題研究所の算定式をベースとした推計値を利用

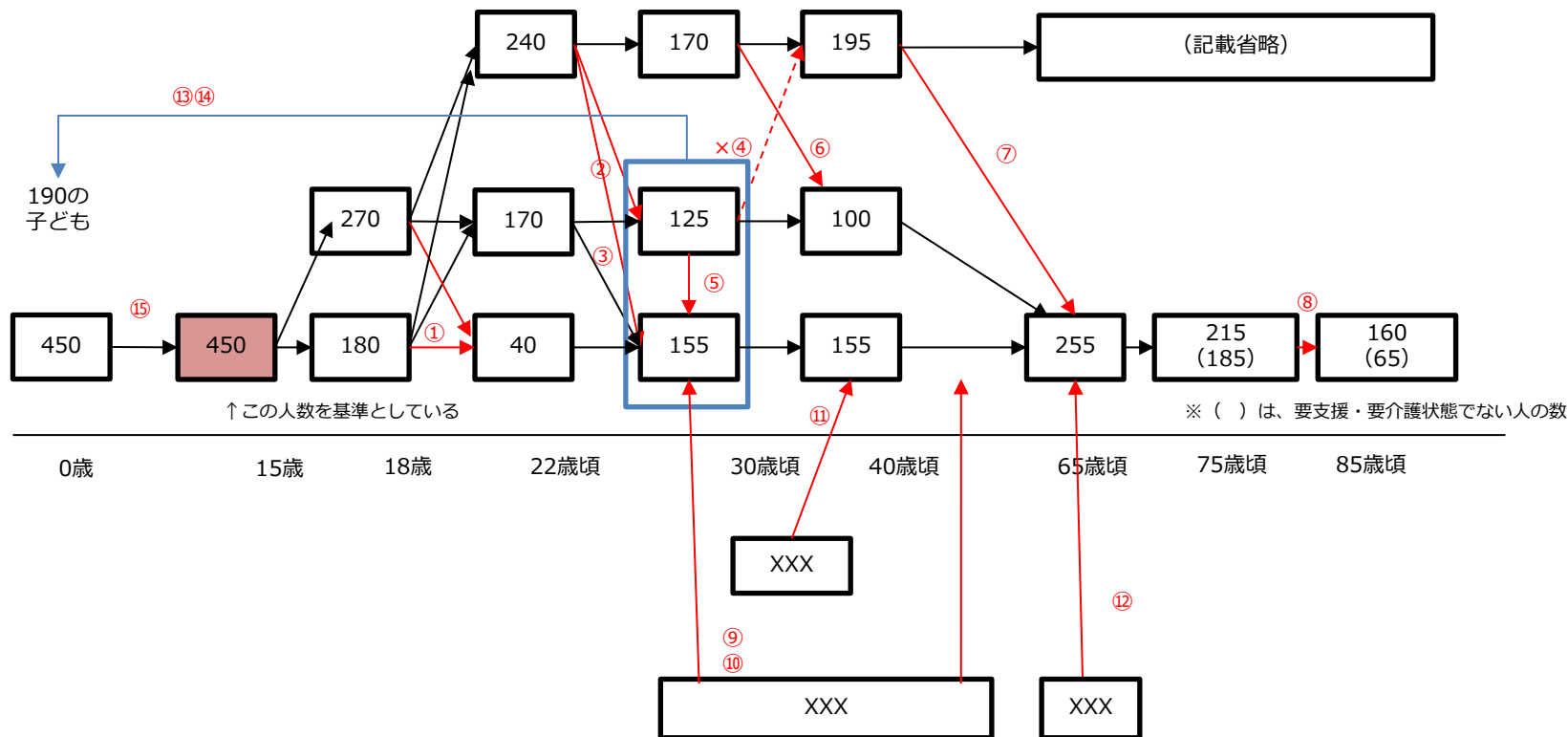
出典：issue+design <http://issueplusdesign.jp/jinkogen/>

【現状】氷見市の中学生在卒業後に、どこに居住・通勤通学をするか？（※単位：人）

※450人（平成23年度～平成26年度に氷見市内の中学校を卒業する人数を参考とした数）を基準とした



※上記のモデルは、氷見市教育委員会資料（平成23年度～平成26年度の中学校卒業生の進路）、resas『富山県氷見市 年齢階級別純移動数の時系列分析』、S55～H22年国勢調査、とやま統計ワールド経由で取得した「平成11年富山県の人口」および「平成26年富山県の人口」、H25～H27ハローワーク氷見の資料、resas経由で取得した『人口動態調査』、公益財団法人 生命保健文化センター資料（元データは厚生労働省「介護給付費実態調査月報（平成26年7月）」総務省「人口推計月報（平成26年7月）」）、国立社会保障・人口問題研究所の氷見市の生残率、住民基本台帳のH26出生数をベースとしてヒアリング等を踏まえて推計を実施。



- ①【しごと】氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす
- ②【ひとの流れ】20代のUターンを増やす
- ③【しごと】氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす
- ④【ひとの流れ】氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす
- ⑤【しごと】④のために、氷見市に子育てと両立する仕事を増やす
- ⑥【子育て】子育ての魅力で氷見市に引越す方を増やす
- ⑦【ひとの流れ】定年後のUターンを増やす

- ⑧【安心な暮らし】長生きをする＆健康寿命を伸ばす
- ⑨【ひとの流れ】20～40代のIターンを増やす
- ⑩【しごと】20～40代のIターン者が就きたい仕事を増やす
- ⑪【ひとの流れ】他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす
- ⑫【ひとの流れ】定年後のIターンを増やす
- ⑬【結婚】婚姻数を増やす
- ⑭【出産】出生数を増やす
- ⑮【ひとの流れ】未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす

人口流出を防ぐ／流入を増やすために現状から積み増したい具体的人数

年あたり純移動数の増加人数
※現在の純減数を基準として、年間で更に積み増す目標人数

氷見市全体

柳田 地区の場合

(氷見市全体の1／13、2の人数を記載)

【観点との関連】

⑮【ひとの流れ】未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす

①【しごと】氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす

※高卒の仕事に就いた瞬間に純増しないと想定されるので、ゼロとした
(⑤と⑪に寄与することを想定)

②【ひとの流れ】20代のUターンを増やす

③【しごと】氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす

④【ひとの流れ】氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす

⑤【しごと】④のために、氷見市に子育てと両立する仕事を増やす

⑥【子育て】子育ての魅力で氷見市に引っ越す方を増やす

⑨【ひとの流れ】20～40代のIターンを増やす

⑩【しごと】20～40代のIターン者が就きたい仕事を増やす

⑪【ひとの流れ】他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす

⑦【ひとの流れ】定年後のUターンを増やす

⑫【ひとの流れ】定年後のIターンを増やす

全体	150人の 純増
0～4歳→5～9歳	15
5～9歳→10～14歳	0
10～14歳→15～19歳	0
15～19歳→20～24歳	0
20～24歳→25～29歳	75
25～29歳→30～34歳	20
30～34歳→35～39歳	20
35～39歳→40～44歳	5
40～44歳→45～49歳	0
45～49歳→50～54歳	0
50～54歳→55～59歳	0
55～59歳→60～64歳	0
60～64歳→65～69歳	15
65～69歳→70～74歳	0
70～74歳→75～79歳	0
75～79歳→80～84歳	0
80～84歳→85～89歳	0
85歳以上→90歳以上	0
合計	150

約1.2人

約5.6人

約1.5人

約1.5人

約0.4人

約1.2人

約11.4人

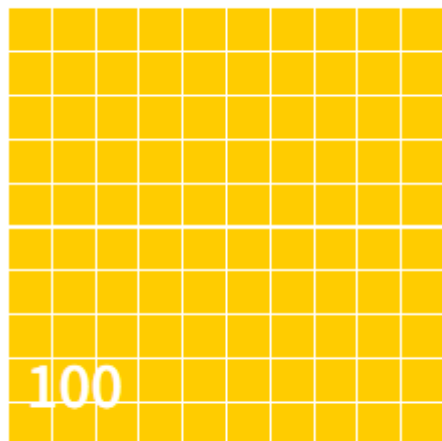
※人数配分については、推進協議会を経た後で変える可能性があります

※社会純増の人数は年間の人数。推計条件に従った厳密な計算では、5年間の社会純増数を5で除いたものです。例えば、150人の純増のうち、20～24→25～29歳の人数は75人ですが、推計上は5年で375人という単位で計算したものです

合計特殊出生率が上昇し、前ページの目標(積み増したい人数)を達成した場合の柳田地区の人口

36

2010



合計 約51,000人

+

合計特殊出生率

1.37 → 2.07

にする

転入者数 (年間)

3.8人増やす

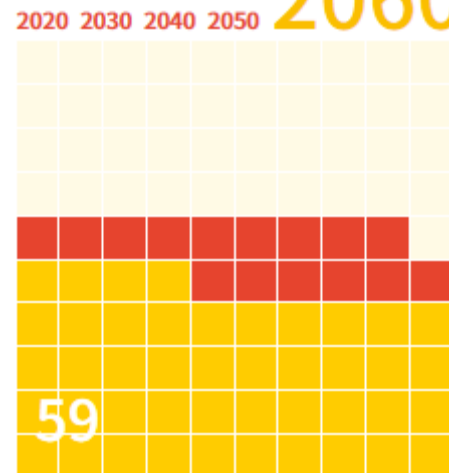
転出者数 (年間)

7.6人減らす

※もしくは戻って来る
人を7.6人増やす

=

2060



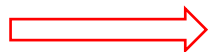
合計 約23,000人 → 30,000人

2060年の人口構成 (氷見市全体)

氷見市全体の20～39歳までの女性人口

2010年

4,824人



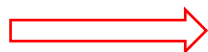
2060年

2,880人

柳田地区の20～39歳までの女性人口

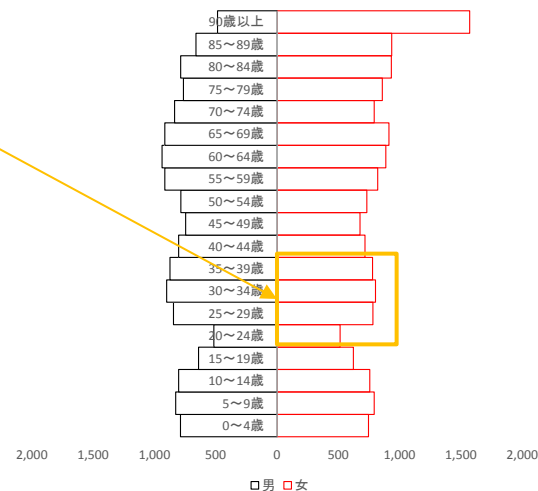
2010年

408人



2060年

244人



※柳田地区の2060年の20～39歳までの女性人口については、柳田地区の2010年の人口に、氷見市全体の2010年→2060年の比率を乗じて算出
※2060年の人口構成は、氷見市人口ビジョンより

デザインはissue+design <http://issueplusdesign.jp/jinkogen/>より。推計結果については、氷見市の人口ビジョンの人口目標を利用

地方創生に向けて、皆さんの知恵やご意見を！ 井戸端会議をしてみよう！

- ① 4～5人でグループをつくります。
- ② 各グループに市職員が入り、皆さまのご意見を記録します。
- ③ いただいたご意見は全体で共有し、今後、地方創生総合戦略を策定する際の参考意見とさせていただきます。

Q 1 . 柳田地区へ転入者を増やすために、
どんなことをすればよいでしょうか。

Q 2 . 柳田地区から転出者した方を戻すために、
または転出してもらわないために、
どんなことをすればよいでしょうか。

意見交換

柳田地区代表
野畑 圭造 様